



高口やすひこ通信



立川市議会議員 高口靖彦

TEL・FAX 534-0267 柏町在住

E-mail takaguchi@komei-tachikawa.com

http://www.komei-tachikawa.com/takaguchi

LINE ツイッター フェイスブック アメブロ



立川の輝く未来をつくります!

「子どもの幸福を最優先する街に」

「高齢者が健康で生きがいを持って暮らせる街に」

「災害に強い安全・安心の街に」

高口やすひこは、
これからも現場第一で、
立川の未来のために
全力で働いてまいります。



公明党は、2月1日、党中央幹事会にて本年6月の立川市議会議員選挙へ向け、高口やすひこ氏を公認決定しました。

高口やすひこが実現しました!

全市立小・中学校に タブレットパソコン導入!

昨年9月、市内の全市立小・中学校にタブレットパソコンが導入されました。以来、ICT(情報通信技術)を活用した授業が開始。これは公明党市議団が一貫して推進した実績。その旗振り役を担ってきたのが議会です。未来を託す子ども達のために、これからも教育環境の整備に全力を尽くします。

税金の効率運用を進めました!

2月13日、立川市・三鷹市・日野市は住民情報システム共同利用に関する協定を締結しました。共同利用とは、地方自治体が情報システムのハードウェア、ソフトウェアなどを外部のデータセンターで管理・運用し、複数の地方自治体の情報システムを集約するもので、業務標準化や費用削減、セキュリティー水準の向上等の効果が期待されます。これは、高口やすひこが平成22年9月に初めて議会で質問し、実現を訴えていたものです。今後は、平成34年度からの運用開始に向けて3市共同での取り組みが進む予定です。

プロフィール

- ◇ 昭和40年2月28 日生まれ、53歳
- ◇ 昭和63年に創価大学経済学部卒業後、システム・エンジニアとして働く
- ◇ 家族/妻、1女1男と4人暮らし
- ◇ 立川市立南砂小、第六中学校、都立三鷹高校卒業
- ◇ 平成18年6月 立川市議会議員に初当選、現3期
- ◇ 性格/熱血、誠実、真面目

たかぐち

高口やすひこは 約束します!



防災・環境・交通

安心と快適な街へ!



- 利活用を見据えた空き家対策の促進
- 自転車走行環境の整備
- 街路灯や防犯灯のLED化
- 高齢化に応じた新たな公共交通システムの導入
- 台風・豪雨等の風水害対策の強化
- 女性視点の防災対策
- 広路1号(中央南北線)の延伸



子どもから高齢者まで 命を守る社会へ!



- 安全で美味しい中学校給食の実現
- 介護保険施設の整備・増床
- 認知症の早期発見・予防対策の充実
- 学童保育の待機児童の解消
- 小中学校特別教室へ空調機設置
- 高齢者緊急通報システムの拡充
- 健康マイレージポイント制度の創設

市民の目線で

活力ある街へ!

- 投票所入場整理券に期日前投票宣誓欄を記載
- 庁舎窓口サービスの利便性を向上
- 文化芸術活動の場の拡大
- 子どもの文化芸術・スポーツ鑑賞機会を充実
- 東京オリンピック・パラリンピック関連事業の推進
- 歩道及びバス停にベンチを設置



くらし

いのち

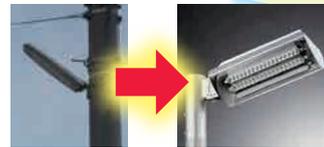
立川の輝く未来のために

立川市 街路灯のLED化を推進します!

現在「街路灯などの早期LED化を求める署名」を行っております。
ご協力いただきありがとうございます。

LED照明は、CO2排出削減とともに、①明るい②電気料金が安い③長寿命等のメリットがあります。そして市全体の光熱費や維持管理コストを大幅に削減します。立川市においても、将来に渡る持続可能なまちづくりを進める上で、早期に街路灯など市が所有し管理する照明をLED化することを市に求めて参ります。

CO2を削減し、まちを明るく!



公明党が提案した女性視点の防災ブックが完成

東京くらし防災



女性の元気応援隊が「東京くらし防災」をアピール

都議会公明党は、小池東京都知事に対し、2016年12月、防災対策に女性の視点を反映するために政策提案を行いました。

①「女性の目線から考える防災ブック」の発刊②東京都防災会議への女性委員の登用拡大等です。この提案により2017年度予算に防災ブックの編集、発行費用が計上され、2018年3月1日に発刊されました。現在、市内公共施設他百貨店等、各所に配布されています。

団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に

地域包括ケアシステム



の構築を目指します。

「地域包括ケアシステム」とは、高齢者の皆様が住み慣れた地域で、医療、介護、予防、生活支援、住まい等が包括的に確保され、安心して生活が継続できる地域の体制を築いていくことです。

医療・・・在宅医療を推進し、病院や地域から在宅に戻った時のサポートをします。

予防・・・健康体操教室や交流サロンを増やします。

介護・・・小規模多機能居宅介護施設や認知症対策を進めます。

生活支援・・・地域の担い手づくりを進めます。

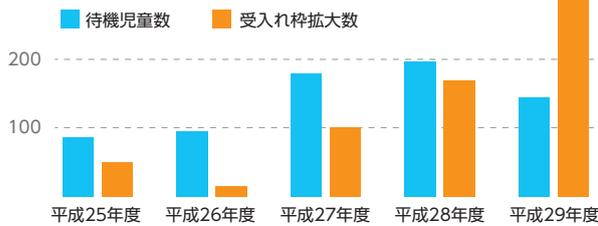
立川市 保育園待機児童が ゼロに向けて大きく前進!



認可保育園を視察する公明党立川市議団（2018年2月）

新年度、新たに
認可保育園の定員
330名増
を実現!

《立川市待機児童数と受入れ枠拡大の推移》



立川市はこれまで10年間で約900名の保育園の定員拡大を図って参りました。しかし待機児童解消の問題は受け皿が増えるほど希望者も増えるので、中々解消が進まないという現状がありました。「立川市は保育園に子どもを預けることができない。」という保護者の方々の切実な声をいつも聞いてきました。そのような中、公明党立川市議団は保育園の民営化による定員枠拡大を一貫して推進・提案し、市の待機児童対策をリードしてきました。これらの取り組みによって立川市はいよいよ新年度、新たな認可保育園を3園、私立認可保育園の分園を2園整備・拡大するとともに市立保育園の民営化に伴う園舎建て替えを実施し、本年度144名の待機児童に対し、合計330名の定員増によって待機児童の解消に大きく近づきます。

